



子育てLabo

こどもは語りかけられる機会が多いほど、聞く力が育まれます。同時にまだ言葉にならない訴えを大人が受け止め、それに反応することも不可欠です。0.1.2歳くらいのこどもさんに、どんな風に言葉かけをしたらいいか迷う時もあるかと思えます。今月はいくつかの例をご紹介します。

機嫌よく「アーアー」と話しているとき

「アーアー、っておはなしできるようになったねー。
パパとアーアーっておはなしいっぱいしようねー」



喃語を真似て反応すると、聞いてもらえていることが伝わります。

ことばを繰り返して、受け止めていることを伝えます。他のことばに置き換えたりすると語彙が広がります。

「ブーブー」と車を見て伝えているとき

「ほんとだ、ブーブーだね。○○ちゃんはブーブーがすきだもんねー。くるまがはしってるねー」



ミルクの時間に泣いて訴えているとき

「あらあら、おなかがすいたねー、おなかがすいたー、
わかったよー、すぐつくるからまってねー」



泣くことはことばの代わりでもあります。訴えに応えてくれる相手に愛着が芽生えます。

子どもたちの健やかな成長を願って
現在、子どもたちを取り巻く現状は、虐待、いじめ、不登校、自殺など、より一層複雑な社会問題になっていきます。子どもたちは、一人ひとりがとても大切な存在で、自分らしく幸せに成長し、生活できるように社会全体で支えていくことが重要です。
こうした社会を目指して、子どもや若者に関する取組を進めていくために、「こども基本法」が制定され、令和5年4月1日に施行されました。この法律は、国連総会で採択された「子どもの権利条約」をもとに制定され、4つの基本的な権利（生きる権利、育つ権利、守られる権利、参加する権利）



※体罰とは、子どもの身体に何らかの苦痛を引き起こし、または不快を意図的にもたらす行為（罰）です。
子どもを一人の人間として尊重し、子どもの思いにもしっかりと耳を傾け、体罰等によらない子育ての推進をみんなで支えていきましょう。
（）が全ての子どもに対して平等に保障されることを目的としています。

人が尊重され、
生きがいを感じられるあたたかい町

人権啓発コーナー

問 生涯学習課 ☎0965-52-5860

毎月11日は人権を確かめあう日です

人権に関する動画を放映します。
皆さんの参加をお待ちしています。

- テーマ 外国人の人権
■ 日時 3月11日(水) 13時30分
■ 場所 氷川町文化センター ロビー

町民文芸

参考: PriPri 「話すにつながる聞く力を育む」
・こども家庭センター ☎0965-62-3456
投稿先 〒869-4814 氷川町島地642番地 企画財政課宛 (毎月5日必着)

短歌

乳のみ児を背に越えきしや八度線
松村義士男の深き愛あり
西上宮 山下 環
水仙の夕風受けて揺れており
白い小花互いに支え
西野津 古崎 栄子
感謝祭学童いきいき役目持ち
蕪の味噌汁あつあつとろろり
西野津 古崎 スエノ
冬の夜の野道の果てを見上げれば
緋月真白にとがりけるかな
北野津 井田 道寛

俳句

胃の臍まで冷たきままや寒の水
西上宮 山下 環
穏やかな元朝に飲むお屠蘇かな
西野津 古崎 栄子
秋祭り毘沙門さんの目ん玉や
西野津 古崎 スエノ
言葉命とすべし寒の百舌鳥
北野津 井田 道寛
氷河期の恐竜吹くや虎落笛
北野津 井田 道寛



『金閣寺燃ゆる』
三島由紀夫「金閣寺」から その16
法道寺 本田 花風
としても、これを儀式として三島が創作したであろうことに疑う余地はないが、これを映画の中でどう表現したのかわりたいものである。
ここは極めつけの場面であるが、三島、川端にしろ、谷崎にしてもこの時代の小説家の多くは官能小説を書かない作家はいなかった。
「眠れる美女」痴人の愛」そして三島の「豊穡の海」、それがなければ小説が小説たりといえないと言っている如しである。
第三章
鶴川、母、老師。「京都に空襲は金輪際あらへん。アメリカさんが遠慮するさかい。」戦争が終わった。終戦直後という時代。米兵と娼婦の話は、当時の時代背景からしてありそうな話であるが外国兵に媚びていかなければ生活もままならないこと日本人が味わった悲愴が感じられる。
一方、母の回想を、前述した母の不倫の様子を引用する。蚊帳と布団の動きしか書かれていないが、注意して読めば濡れ場としっかり分かるところで絶妙である。
「蚊帳は風を孕みかけては、帆布位に揺れていた。だから吹き寄せられる蚊帳の形は、風の忠実な形ではなくて、風が頼れて、稜角をなくしていた。畳を笹の葉のように擦る音は、蚊帳の裾が立っている音であった。しかし風が立っているのではない動きが蚊帳に伝わった。風よりも微細な動き、蚊帳全体に漣のようにひろがる動き、それが粗い布地をひきつらして、内側から見た大きな蚊帳の一面を、不安の漲った湖のおもてのようにしていた。湖の上の遠い船の跳立てる波の先達、歩いてあるいはすでにすぎさった船の余波の遠い反映……。」

八火図書館だより

☎0965-62-3489

今年度も残りわずかとなり、年度の締めくくりにさしかかります。冬の寒さから解放され始めるこの季節は、1年のうちでも特に心躍る時期です。

1年を振り返る意味でも改めて、本と向き合ってみるのはいかがでしょうか。

新着図書紹介

- 一般書
ブレイクショットの軌跡 / 逢坂 冬馬
さよならの保険金 / 額賀 滯
雷電 / 梶 よう子
世にも簡単なおやつレシピ / おやつラボ
■ 児童書
つるつるのおとうと / しりとりがぞく
こいぬのがっこう / きたむら さとし
3つのいしころ / オリヴィエ・タレック
サメのイエニー / リーサルンドマルク

おすすめ図書

成瀬は都を駆け抜ける / 宮島 未奈
京大生となった成瀬は新たな仲間たちと出会い、京都の街をひた走る。一方、東京の大学に進学した島崎のもとに、ある知らせが…。唯一無二の主人公、膳所から京都へ！令和最強の青春小説シリーズ堂々完結！

お知らせ



資源の有効活用を図るため、リサイクルフェアを開催します。役目を終えた本や雑誌を、無償で皆さまにお譲りします。
期間は3月14日(土)から2週間を予定しています。なくなり次第終了いたします。

【返却のお願い】

あなたの部屋に借りたまま返却期限が過ぎている本はありませんか？返し忘れがないか、確認してください。
なお、休館日や時間外の場合は入口の返却ポストをご利用ください。

【おはなし会のお知らせ】

おはなしさくらんぼ会によるおはなし会を開催します。
◆期日 3月26日(土)
◆場所 八火図書館 おはなしコーナー
◆時間 10時30分～11時30分
皆様のご参加をお待ちしております。

